

国道105号「大覚野峠地区」の直轄権限代行 による事業化についての知事コメント

本日、国土交通省から、国道105号「大覚野峠地区」のうち、防災上の課題及び技術的課題が特に多い峠部区間が、直轄権限代行により事業化されることが公表されました。

今回、「大覚野峠地区」の峠部区間が事業化されますことは、仙北市、北秋田市、大館市をはじめ、関係する方々の御尽力の賜であるとともに、長年の課題でありました、災害に強く、信頼性の高い、本県内陸部における南北軸の整備実現や、日本海沿岸東北自動車道及び東北縦貫自動車道との広域的なダブルネットワークの構築に向けた大きな前進であり、広域連携の強化、産業振興、観光振興を大きく後押しするものと期待しております。

県としましては、国道105号「大覚野峠地区」峠部区間の早期完成に向けて、あらゆる機会をとらえて、関係機関に強く働きかけてまいります。

令和3年3月30日

秋田県知事 佐竹 敬久